

新建福岡・NOW

第12号 2016.05.10

発行元
新建築家技術者集団
福岡支部事務局
〒815-0041
福岡市南区野間 3-9-20-4F
[ケイ・プラッツ内]
Tel/Fax 092-541-8128
HP : shinken-fukuoka.net

■ ■ 新建福岡の企画 レポート ■ ■

12月例会「バルセロナ報告会」

2016年12月12日 呑み処 安 (矢野さん自宅)

会員の中島夫妻が新婚旅行で「バルセロナ」へ行くことを知り、ぜひ旅の話が聞きたい!とある日の懇親会をお願いをしました。

そしてマシメな二人は、今回の報告会のことをかなり意識しつつ旅行をしてきたのではないかと思うほど、新婚旅行というより研修旅行(視察)のレポートを聞いているようでした。都市の歴史、言語等のことも分かりやすく解説があり、食べもの話、サッカーチーム「FCバルセロナ」の話も、とても惹きつけられ、バルセロナに行きたくなりました。

後半には、それぞれが持ち寄った数年前、25年前にバルセロナを訪ねた際の写真(スライド写真)を上映し、盛り上がりました。キャンドルがとり、ステキにテーブルコーディネートされた空間に酔い、美味しい料理、お酒に酔い、とても楽しい例会でした。



1月例会「第2回仕事を語る会」

2016年1月23日 福岡市男女共同参画センター(アミカス) 参加者19名

建築と外構・造園でともに協働する機会も多かったお二人に、これまでの仕事の実話を語って頂きます。お話を聞いて、自らの仕事をさらに深めたり、新たなヒントを探してみませんか? 会員以外の方もお気軽にご参加ください



仕事を語る会

第2回

この例会「仕事を語る会」は、会員同士のお互いの活動を深く知りあい、それぞれの活動を高め合う足がかりになればと考え企画したもので2回目の開催です。当日は雪で、少しキャンセルもありましたが、例会は大いに盛り上がりました。

設計事務所「ケイプラッツ一級建築士事務所」代表の鹿瀬島隆之さんと河野陵さんからは、プロジェクトマネジメントという立場で病院建築に携わった際の話等があり、ゼネコンによって社風がこんなに違いがあるものかと感じたこと、3Dの活用をしていること等、知る機会のないことを知ることができました。

庭づくりのお仕事をされている「庭園空間ラボ」代表の上田剛さんのお話をうかがっていると、本当に植物、お庭づくりのお仕事が好きなんだということが伝わってきました。こだわりの庭づくりのお話も面白かったです。

第1部

語り手 鹿瀬島隆之+河野陵氏
(ケイプラッツ一級建築士事務所 代表+3P)

『プロジェクトマネジメントによる

病院建築について』

この数年は設計施工一括発注方式での病院建設の現場にも携わってきましたが、その際に感じたメリットやデメリットをご報告します。また、事務所を取り組んでいる3Dや動画を活用した設計手法もご紹介します。

第2部

語り手 上田剛氏
(庭園空間ラボ 代表)

『～庭～風景をつくる。

こだわりの庭づくりについて』

庭作り・ランドスケープ・造園・ランドスケープ... 言い方は様々あれど、それは風景をつくることと言えるでしょう。庭園空間ラボのここ10年ぐらいの施工作品を見ながら、まつわる思い出や私的エピソードを交えて真面目に語ります。

新建学校 2016「外断熱講座～福岡で外断熱!?～」

2016年2月19日 アクロス福岡(参加者49名)

報告: 伊集院

報告1「第10回北米パッシブハウス会議報告」芝浦英樹氏(京都工芸繊維大学准教授)

報告2「世界の外断熱-ドイツ・イタリア-建築物理と外断熱の旅-」堀内正純氏(NPO 外断熱推進会議専務理事)

報告3「分譲マンション外断熱改修の詳細～海外と札幌での事例から～」大橋周二氏(大橋建築設計室代表)

外断熱という言葉さえなかったような時期から地道な活動を続けてこられた講師の方々から、気候の違いに合わせて基準をつくらうとする国際的な動向や、諸外国の実例から学ぶこと、分譲マンションの外断熱改修の実例報告が続きました。講師陣の熱意と、参加者のエネルギー問題に対する意識が生み出す緊張感に包まれた2時間30分でした。

外断熱の主な効果は3つ。①省エネ・冷暖房費の削減、②室内環境の改善—結露・カビ防止、③建物の長寿命化—躯体の保護。京都や沖縄（塩害対策）での外断熱の事例報告もあり、「福岡で外断熱!？」の核心部分に多くの方が「そうか」と頷きました。「福岡の気候に合わせたやり方がある」「省エネだけを強調しすぎるとうまくいかない」とのこと。紹介された「タイルの剥離問題」は、マンションの老朽化にともなって福岡でも共通の課題になります。「福岡で外断熱に取り組む方がおられたら、すぐに飛んできます」とのメッセージがあり、心強いかったです。講演終了後、複数の質疑応答があり、内容が一段と深まりました。

福岡 2016 新建 学校

外断熱講座～福岡で外断熱!?
建物の省エネ性能を大幅に向上させ、快適な環境を提供する外断熱。外断熱は、北海道など寒冷地だけで必要なのだろうか? 温暖な福岡では不要なのだろうか? 日本の外断熱の第一人者が、実践に沿った報告を行います。福岡でも外断熱について一緒に考えませんか。会員以外の方もお気軽にご参加ください



<p>第1部</p> <p>報告1 芝池英樹氏 (京都工芸繊維大学准教授) 『第10回北米パッシブハウス会議報告』 1995年カナダ国立研究機構招聘フェローシップ受賞、「建築外皮の熱・湿気・変形性状に関する数値予測法開発」に従事。北米 EIFS の排水・防湿性能や耐火性能を含めた最新技術情報を調査し国内で紹介。</p> <p>報告2 堀内正純氏 (NPO 外断熱推進会議 専務理事) 『世界の外断熱 ドイツ・イタリア 建築物理と外断熱の旅』 1948年北海道旭川市生まれ。住宅生協運動に従事。住宅・マンション分譲からマンションでの結露・カビ問題に直面。外断熱の必要性を考へる。全国各地で外断熱に関するセミナー、講演、技術指導、海外視察のコーディネートを行う。(有)アイアイ代表取締役。</p>	<p>第2部</p> <p>報告3 大橋周二氏 (大橋建築設計室(札幌)代表) (新建築家技術者集団北海道支部 全国幹事) 『分譲マンション外断熱改修の詳細』 ～海外と札幌での事例から～ 1992年、札幌市で大規模建築設計事務所開設。住宅・医療・福祉施設の設計監理を行う。 2008年スウェーデンの外断熱建築視察をきっかけに2015年まで札幌市、千歳市で10棟の分譲マンションの外断熱改修を行う。日経アーキテクチャー誌 2015年6月10号に掲載される。 「高気密・高断熱を追求 北政目押し足元から改善」札幌市での外断熱改修事例</p> 
--	--

4月例会「花見」 2016年4月1日

昨年企画した花見のコースが好評だったので、今年も昨年同様に企画してもらいました。東長寺に集合し、博多の寺町界隈の観桜ののち、御供所の割烹店で懇親会をしました。サクラは満開の時期。目の保養を十分した後は、「花より OSAKE」と楽しい時間をすごしました。今年は、金曜日開催だったためか、参加者少なめだったのが、残念でした。来年は、サクラの開花のタイミングと、みなさんが参加できる日の調整がうまくいき、みんなでのしみたいと思います。



熊本地震 福岡支部視察調査 レポート (速報)

2016年5月3～4日 熊本県甲佐町・益城町・熊本市内 (参加者8名)

報告: 鹿瀬島

新建福岡支部では緊急拡大幹事会を開催し、熊本地震について支部としての対応を検討しました。浜崎さん(会員)のご友人で、甲佐町で「グループホームせせらぎ」を運営されている高橋さんを訪ねました。

施設は築100年ほどの民家を改修したのですが、大きな被害を受け、入所者と共に避難されているそうです。「せせらぎ」に行った時は雨風がひどく、ビニールシートの隙間に雨が吹き込んで雨漏りがしてきました。「梅雨に向けて応急手当をしてほしい。」と切実に話されていました。ご要望のあったケア付仮設住宅の資料や支援物資をお渡しましたが、今後どのような支援ができるかを検討する必要があります。しかし、ケア付仮設の建設などについては行政もあまり乗り気ではないため、このような施設の被災問題については考えさせられます。

その後に益城町に行ったのですが、被害の状況が近隣市町村よりも甚大であり、甲佐町などにはまだとても復旧の手が回りにくいのではないかと感じました。

新建のような全国組織にお願いしたいことは、ケア付き仮設の早期建設や長期的には福祉仮設住宅などの必要性を、熊本県、甲佐町、益城町などの行政に直接提案してほしいということです。私も住民当事者からの訴えと専門家集団からの提案の両方が必要だと思います。

近くにあるもう一つの福祉施設を訪問しました。こちらの施設は、木造による耐震補強がきちんとなされていたためか、極端な構造体への被害はあまり見受けられませんでした。

* 新建福岡のホームページに、視察調査のレポートを掲載しています

<http://www.shinken-fukuoka.net/>



村野藤吾・旧八幡図書館の解体の危機が迫る！解体を止める緊急署名活動中



福岡県北九州市の八幡駅から近いエリアには八幡市民会館（1958年）、八幡図書館（1955年）、ひびき信用金庫本店の3つの村野建築があり、いずれも愛され、大切に使われてきました。八幡は明治時代から製鉄の街として発展してきました。戦後の日本の復興にも重要な役割を担ってきたのです。戦争中には空襲を受けて、多くの犠牲者が出たそうです。その焼け野原になった八幡の街にこの図書館や市民会館ができて多くの市民は「ああこれで本当に平和になるんだ」と実感したそうです。北九州市立八幡図書館（2016年3月閉館）この建物を設計した村野藤吾は日本を代表する建築家で、唐津で生まれ八幡で育ち、一時は八幡製鉄に勤務したとこともあるなど、八幡とはつながりの深い建築家です。

ところが、2012年北九州市立八幡病院の建て替え計画が決まり、隣接する敷地が選ばれたものの敷地面積が足りないため、この図書館が解体され病院の駐車場されることになりました。図書館は2016年3月13日で閉館、機能は病院敷地内の建物に移されます。市民会館も同時に閉館し、利活用について検討されました。その結果は2016年8月に発表される予定ですが、建物の特徴である音響の良さやホワイエの意匠などが活かされるかどうかはわかりません。4月17日にはシンポジウムが開かれ、八幡の魅力と景観の永続性等について暑く語られ、市民等100名参加し、市が打ち出している旧図書館の解体の見直しを求める声が相次ぎました。

5月11日より解体の仮設工事が始まる予定で、解体の危機が迫っています。署名活動にご協力をお願いします。

八幡図書館の解体を止める緊急署名実行委員会

問合せ（加来090-6297-9009、三浦090-9563-3815）

署名締切 5月25日

箱崎九大跡地ファンクラブ 署名活動継続中！

地域住民の会「箱崎キャンパスのみどりと建物をたいせつにする会」は、これから賛同を大きくして九大跡地のみどりと建物を残すことを目的に活動しています。また、他5団体と「箱崎九大跡地ファンクラブ」を結成し、いろいろな形で情報を発信し、この貴重な都市の財産が引き継がれるよう活動しています。日々解体が進んでいます、みどり、建物が残せるよう、署名活動等ご協力をお願いします。

Facebook をされている方へ。

「箱崎九大跡地ファンクラブ」を検索 →「いいね！」をお願いします。

ファンクラブの団体会員を募集しています。 <http://love-kyudai.jp/>



■ ■ 新建福岡 今後の企画 ■ ■



新建福岡では、連続講座「新建ゼミ 2016」を開催。構成は次の4シリーズ。いずれも興味深いテーマです。

■シリーズA 『建築技術者に贈る長生き建物のススメ』

講師：片井建築設計事務所 片井克美氏

主旨：欧米に比べ新築工事の割合が多い日本の建築事情ですが、時代の要請はリニューアル・リノベーションに向かっています。既存のストックを生かし、安全で快適な暮らしを持続するために何が必要か、準備をしておきたいところです。

第1回 5/10（火） 鉄筋コンクリートの劣化を防ぐ設計監理

第2回 5/24（火） 建物が人を襲う 危険な建物の実態

第3回 5/31（火） 欠陥建築を防ぐために

【今後の予定】 7月 ■シリーズB 『伝統木構法の実践』

9月 ■シリーズC 『パッシブデザインの実践』

11月 ■シリーズD 『ワークショップを用いた計画手法』

そのほか、「山あるき企画 in 基山」、「第3回仕事を語る会」の企画が予定されています。詳細が決まりましたら、新建福岡HP等で、ご案内いたします。みなさまのご参加お待ちしております。